

C-28 各種光源による色の演色性について

岐阜大学 中野みち越

光源を変えて物体の色を見る時その色の見え方が変化することは広く知られているところであるが特に被服デザインの研究においては光源の演色性によってデザインに相当違いが生ずる事等極めて重要な問題がある。

第一報第二報に於ては分光器並びにミクロホトメーターによる色の変化と心理学的測定の結果とを比較考察を行ったが本研究では更にこれを標準光線と蛍光灯（昼光色 天然白色天然昼光色蛍光ランプ）による演色性を物理学的方法と心理学的方法とを用いて実験を行った結果を C.I.E. 色度図上にアダプテーション (Adaptation) してみた場合両者の間に光源によってかなり色のづれがあることが認められたのでそれについて報告する。